



校長の話 「地域貢献から地域参画へー春日東中のチャレンジ」 校長 山崎 明彦

本校ではコミュニティ・スクール（以下CS）としての方向性を「地域貢献から地域参画への転換」と定め、本年度から新たな取組をスタートさせたところです。春日市が目標とする「協働のまちづくり」を具現化するために、中学生が我が町のよさや課題に気づき、その解決方法を考え、自治会長や市議会議員の皆様へ中学生が考えるまちづくりについて提言をしていこうと計画しています。7月1日、2年生は部会ごと

に自分たちが生活するまちに出向き、自治会長へ町づくりに関するインタビューや、まちのよさや課題に直接触れる活動を行いました。また、3年生は、これまでに「春日市総務部人事法制課」、「春日市選挙管理委員会」、「春日市議会事務局」の方々のご協力を戴き、春日市の政治（自治）のしくみを学ぶと同時に選挙権を行使することの大切さなどを学び、いよいよ次回は、春日市の未来を見つめながら、春日市政への質問や提言を考えていきます。10月に2年生が「自治会長との大討論会」、11月に3年生が「市議会議員にアタック」を実施し、中学生が考えるまちづくりや市政について意見を発表する予定です。中学生が考えた発想や知恵が実際にまちづくりに生かされていくことを期待するばかりです。このような学びは学校だけの力では絶対に出来ません。地域や行政との連携があって初めて実現出来る学びです。CSだからこそ、これらの連携がスムーズに出来ています。生徒たちが春日東中という学び舎で、誰もが経験しない学びを体験して、大人になった時に、自ら主体的に協働するまちづくりに参画してくれることを願うばかりです。

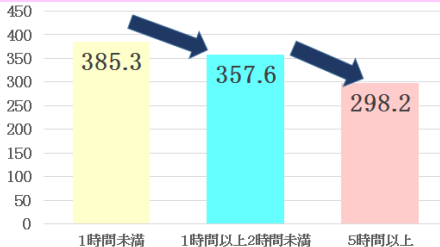


くちくし台・光町の自治会長へのインタビューや車椅子で安全に通行できるかの調査>

CSでの教育活動を通して、生徒自身が町のよさや課題に気づき、考え、行動する！このような共育こそ、未来を生き抜く生徒を育てるために大切なことと考えます。「未来からの留学生」である中学生が未来に向けて確かな一歩を踏み出していくためにも私たち大人が心をつなげて共育を推進する。これが大人の責任であると思うのです・・・

睡眠調査とメディア使用の関係について

メディア利用時間と成績の関係性



保健指導部を中心に睡眠調査を実施し、スマホやPC等とのメディア使用や生活習慣の改善に取り組んでいます。メディア使用とテストの合計点の相関関係を分析しますと上の図のような結果となりました。成績に影響するだけでなく、友人関係のトラブルがSNSを発端にしたものであったり、夜遅くまでのメディア使用で朝が起きられなかったり心や体を蝕む事例も見られます。春日市では夜22時以降のスマホ使用を禁止する呼びかけがされております。タブレット使用の授業が進む中、校内でも、使用の仕方やルールを学校全体で確認してるところです。夏休みに入ると、よりいっそう子どもたちのメディア使用が増える傾向が見られます。ご家庭でも、この機会にメディア使用のルールについて、子どもたちと話し合う機会をもってくださいませようお願いします。



第2回PTCA運営委員会

7月8日に第2回PTCA運営委員会を開催いたしました。ご出席いただいた保護者の皆様、ありがとうございます。今後、感染状況を見ながらPTCA活動を再開していきます。11/14(日)には昨年同様、物販バザーで計画しますので、ご協力よろしくお願いたします。



生徒一人一台のタブレットを使用する中、いかに授業で効果的に活用していくべきか学校全体で、研修に取り組んでいます。感染予防のため、なかなか授業参観をしていただく機会を持っていませんが、個別最適な学びと協働的な学びを実現させていくように頑張っています。

感染予防対策の継続について



7/21から夏休みに入りますが、学校におきましては、部活動練習などこれから先も、感染症の影響が続くことが心配されます。引き続き、マスク着用・換気・ソーシャルディスタンス等の対策を徹底してまいります。玄関と保健室に検温表示器を設置しております。保護者や地域の方々も、来校の際はご活用下さい。また三者面談の際には、自宅検温の上、マスク着用、上履き持参、アルコール手指消毒等、ご協力をよろしくお願いいたします。